

| 開講専攻 | 授業科目 | 担当教員 | 必修 選択 の別 | 単位数 |
|--|------------------------|--------|----------------|-----|
| 看護学 5 Semester 金・4 | 助産学原論 | 佐藤 喜根子 | 選択 | 2 |
| 授業題目 | 助産学とは何か、助産師の実践活動を理解しよう | | | |
| 授業科目の目的・概要及び到達目標等 | | | | |
| <p>助産の歴史は人類のスタートとともに始まり、人間社会の時代とともに発展してきた。その概念は時代・文明の影響を受け現在に至っている。授業では、今日の助産学の基本理念及びこれまでの助産の変遷、さらに助産師の責務と役割を理解する。その中で少子化社会となった現在の助産師の役割と課題を概観する。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | |
| <p>第1回 助産の概念 (助産の意味・意義・対象)</p> <p>第2回 助産学教育の基本理念</p> <p>第3回 助産の歴史 その (わが国の助産の変遷：有史から平成まで)</p> <p>第4回 " その "</p> <p>第5回 " その (第二次世界大戦後の助産師活動)</p> <p>第6回 " その "</p> <p>第7回 諸外国における母子保健の変遷</p> <p>第8回</p> <p>第9回 助産師の責任 (職業的責務と法的責任)</p> <p>第10回 母子保健の動向 その (母子保健の変遷と現状)</p> <p>第11回 母子保健の動向 その (母子保健の変遷と現状)</p> <p>第12回 助産師の教育 その (教育制度・倫理)</p> <p>第13回 エビデンスの確立のために</p> <p>第14回 助産師の将来的展望</p> <p>第15回 試験</p> | | | | |
| 成績評価の方法及び基準 | | | | |
| 出席状況、課題レポート、試験の成績を総合して評価する | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | |
| <p>助産学講座 「助産学概論」(医学書院)</p> <p>「わが国の母子保健」(母子衛生研究所)</p> <p>「母子保健の主なる統計」(厚生労働省児童家庭局母子保健課)</p> <p>「保健師助産師看護師法の解説」(日本医事新報社)</p> | | | | |